

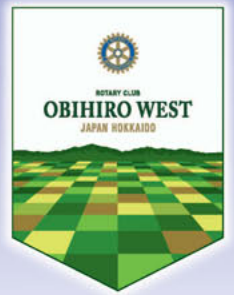


帯広西ロータリークラブ

第2089回例会

2015.5.7

会報



■RI第2500地区テーマ■

誠心誠意

Service With Sincerity



■クラブ・テーマ■

「絆を重んじ、信じ合い、輝やけるクラブを目指そう」

開会宣言

堂山啓太SAA

ゲスト紹介

帯広ローターアクトクラブ

佐々木和彦副会長

会長 鈴木彩乃 様

副会長 道見賢人 様

幹事 小峰洵也 様

結婚祝い

高田晃一親睦活動委員

千葉 清孝会員(1970.5.30)

川田 章博会員(1976.5.29)

柳沢 一元会員(1986.5.31)

河合 敏会員(1989.5.6)

丸崎 茂会員(1990.5.20)

小野 辰夫会員(1990.5.27)

工藤 正宏会員(1993.5.22)

内海 仁司会員(2007.5.10)

上垣香世子会員(1950.5.13)

誕生祝い

酒井 忠之会員(1937.5.12)

上垣香世子会員(1950.5.13)

内海 仁司会員(1951.5.10)

深澤 知博会員(1956.5.30)

飯田 正行会員(1960.5.6)

堂山 啓太会員(1967.5.20)

近藤 真冶会員(1972.5.26)

乾杯

馬島正尚会員

会長報告

平田利器会長

皆さんこんにちは。

大型連休はいかがお過ごしでしたか、私は5月4日札幌ドームのフィールドシートが6枚取ることが出来て迫力ある試合を3家族で日本ハム対楽天戦を楽しんできましたが残念ながら負けてしまいました。二晩すすきの界限で色々なお店や飲み物に巡り会ってきました。

何か5月に入り次年度に向けた取り組みが目白押しにやってきましたが、最後まで自分の年度をしっかり務めようと心しています。

本日の例会は青少年奉仕委員会の担当例会で、ローターアクトの役員の方々に活動報告等をして戴きますので宜しく御願いたします。

今日は「自分で学び自分を豊にする力」についてであ



ります。自分で学びということですが、まず教育の問題があります。教育についてはどなたも高校を卒業すると大学にいけると思っていて、大学に行くことが教育の最大の目標とされている時代であります。しかし、一番大事なことは大学で習ったこと、得たことが実社会で即使えているのか、何年通用するかであります。ですから、高校・大学共に新卒者の中途退職が多いのは、教えの中から自分の目標とか理念がしっかり出来あがっていないことが問題なのだとわれています。次に我々日本人は、戦後、物作りが好きな国民であると言われ続けています。確かに物作りは大切な社会行為であります。問題は価値を創らずに物だけを創り出している所にあります。今日の社会は新しい価値を創り出す時代へと変わって来ているのです。ですから多品種少量の高付加価値商品をどの様にして発掘し創り出すかが、これからの社会変化に対応するものになると思います。これからの未来を想像した時に、戦後の混乱から現状が打破できていないのは、システムがあまりにも具合良く、あぐらをかいてしまっていたからで、教育制度や、社会環境、世界観も大幅に変化している中で、適応出来なくなっているのは、まさに、長寿社会に成ってきていることだと言われています。そこで長く働くようになりますので、常に新しい事を勉強し続けなければ成りません。ですから社会の進化、変革について行きながら、物事の価値を学び続け、監察しなければ成りません。

少子高齢化が進む現在、人手不足や後継者不足等は常に見られている光景となっています。俗に言う教育は教え育てると書きます。業界用語ですと、共に育てると書いて、共育と言う簡単な発想の転換で視点を変えることがとても大切なことと感じています。最後に成りますが、人には出来ない人はいない。会社の社員を移動する時に例えますと、適材適所によって運用の仕方人間性も大きく変わるものです。

そうなんです、出来ない人はいないんです。

全ては動機付けによって変わるものなんです。

たとえ100点満点の仕事で無くとも、たとえ60点であっても、残り40点は色々な意見を聞き勉強し、100点にすればいいと考える、心の豊かさが生まれてきます。ですから自分で学び自分を豊にする力を見つけ出してそれを力にする必要があると思います。発想の転換が求められているのが、現実、現状ではないでしょうか。

以上、本日の会長報告と致します。



会長 平田 利器
幹事 天野 清一

副会長 佐々木和彦
副会長 飯田 正行

会場監督理事 堂山 啓太
プログラム委員理事 久保 且佳

発行：広報委員会
委員長 森 房明 (副)立崎 貴之



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

会務報告

①帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内
 日時 5月28日(木)午後6時30分
 場所 夢人

天野清一幹事



ニコニコ献金

中川 芳明 青少年奉仕委員長

田中耕吾親睦委員長



本日は青少年奉仕委員会の担当例会です。アクトから3名の方が見えております。宜しくお願いいたします。又、6月13日(土)は、帯広ローターアクトの40周年記念式典です。こちら、宜しくお願いいたします。

ニコニコ 献金	5月7日	2,000円
	累計	618,108円 (5月7現在)

委員会報告

本日次年度の第一回クラブ協議会を開催します。

太田 豊副幹事

プログラム

中川芳明青少年奉仕委員長

「今年度活動報告と次年度活動について」



鈴木彩乃ローターアクトクラブ会長

皆様こんにちは。帯広ローターアクトクラブ会長の、鈴木彩乃です。本日は皆様の貴重なお時間をいただきありがとうございます。本日は、帯広ローターアクトクラブの活動報告と、前回ご紹介させていただきました次年度会長の道見より、改めて皆様へごあいさつをさせていただきます。



氷まつり



測ればわかるホントの自分



全国研修会(福島)



三国志から学ぶ現代処世術



日本の文化を知る



他クラブとの交流会



他クラブとの合同例会



道見賢人ローターアクトクラブ会長エレクト

次年度テーマ

2015～2016年度
 クラブテーマ

「弱さを強さに変えて」

2015～2016年度 帯広ローターアクトクラブ
 会長 道見 賢人

次年度会長方針

中川委員長と共に

2015～2016年度 【会長方針】

- ① 今後私達を成長させてくれる、新しい会員を積極的に増やしましょう。
- ② 全ての活動に当事者意識を強く持ちましょう。
- ③ 過去の資料や反省データは、有効に活用しましょう。また将来のクラブのために詳細に残していきましょう。
- ④ 会員から出た意見は否定せず尊重して耳を傾け活かしていきましょう。

